

「アジア諸語を主たる対象にした言語教育法と通言語的
学習達成度評価法の総合的研究」
— 成果報告書 (2014) —

目 次

はしがき	富盛伸夫	
第一部：シンポジウム報告		
Introduction to the Symposium 2015	Nobuo TOMIMORI	1
A Dialogic Critique of Michael Byram's Intercultural Communicative Competence Model: Proposal for a Dialogic Pedagogy	Catherine MATSUO	3
The Globalization of the CEFR Reconsidered in a Socio-Cultural Context	Monika SZIRMAI	23
Foreign Language Proficiency Frameworks and Problems of Implementation of CEFR in Korea	Mijin WON, Hyounhwa KANG	39
第二部：調査報告等		
アジア・太平洋地域における CEFR 導入の実態報告 —オーストラリア・ニュージーランド—	拝田 清	47
シンガポールの言語状況と言語教育について —現地調査から—	矢頭典枝	59
マレーシアの大学における外国語としてのマレー語教育の現状	ウン・シンティ、野元裕樹	77
ミャンマーにおける言語教育	岡野賢二	87
パキスタンにおける言語教育の現状	萬宮健策	95
沖縄、長崎における複言語教育の現状・展望	山崎吉朗	99
非 EU 言語の学習者アンケート調査からみた CEFR のレベル設定と 能力記述文の問題点 —特にアジア諸語学習者の事例から—	富盛伸夫、ソ・アルム	113
第三部：本研究プロジェクトの概要と研究活動等		
「アジア諸語を主たる対象にした言語教育法と通言語的学習達成度 評価法の総合的研究」(2012 年～2014 年)の総括および成果	富盛伸夫	127

執筆者一覧